

薬の伝言板

薬の用法について



No. 327 2025年2月

丸子中央病院 薬局

薬は一般的には「食後」に飲むように処方されることが多く、実際は食事の影響を受けない薬が大半です。しかし、薬の中には必ず食後に飲まなければいけないもの、食前に飲まなければいけないもの等、服用する時期が明確に決まっている薬も多数存在します。決められた飲み方（用法）を守らないと、薬の効果が十分に得られなかったり、逆に薬の効果が強くなり副作用の原因になったりする恐れがあります。

【各用法と服用時期の目安】

- 起床時→朝起きてすぐ（1日の最初の食事・飲水の前）
- 食前→食事の30～60分前
- 食直前→食事の5分前以内
- 食直後→食事の5分後以内
- 食後→食事の30分後以内
- 食間→食事の2時間後の空腹時（注：食事中ではない）



【薬と用法の例】

I. 起床時に服用する必要がある薬

医薬品（薬効）	注意点
アレンドロン酸（骨粗しょう症治療薬） リセドロン酸（骨粗しょう症治療薬）など 	<ul style="list-style-type: none">• 起床時に十分量（約180ml）の水で服用• 服用後30分は横にならず、水以外の飲食物及び薬剤を摂取、服用しない• 毎日、週1回、月1回等、製剤により服用間隔が異なる
セマグルチド（2型糖尿病治療薬） 	<ul style="list-style-type: none">• 1日のうちの最初の食事、飲水の前に空腹の状態のコップ約半分（120ml以下）の水で服用（120mlを超える多めの水は薬の効果が下がるため×）• 服用後30分は水以外の飲食物及び薬剤を摂取、服用しない

Ⅲ. 食前に服用する必要がある薬

ドンペリドン（制吐剤） メトクロプラミド（制吐剤） 	<ul style="list-style-type: none">消化管の蠕動運動を亢進させて、食べ物が胃内に長く留まらないようにすることで食後の胃部不快感を抑える→食前服用が効果的
---	---

Ⅱ. 食直前に服用する必要がある薬

ボグリボース（2型糖尿病治療薬） 	<ul style="list-style-type: none">食事の直前（箸を持つタイミングが良い）に服用食物と薬が小腸の中で同時に存在する必要があるため、食直前に飲む必要がある
ミチグリニド （2型糖尿病治療薬） 	<ul style="list-style-type: none">食事の直前（5分以内）に服用服用後 15 分で血糖を下げる効果が最も強くなるため、食前（30 分前）では低血糖のリスクあり
テナパノル塩酸塩 （透析中の高リン血症治療薬）	<ul style="list-style-type: none">食べ物のリンと結びついて便中に排泄する作用があるため、食事の直前に服用食後では胃酸で薄まって効果が落ちる

Ⅳ. 食直後に服用する必要がある薬

沈降炭酸カルシウム （透析中の高リン血症治療薬） 炭酸ランタン水和物 （高リン血症治療薬） 	<ul style="list-style-type: none">空腹時に服用すると、吐き気、胃部不快感等が出やすくなる胃酸と混ざることによって効果が出るため、食直後が良い
---	--

Ⅴ. 食後に服用する必要がある薬

カフル・ギメラシ・チラリカルウム配合 （抗がん剤） レゴラフェニブ （抗がん剤）	<ul style="list-style-type: none">空腹時に服用すると薬の効果が低くなるレゴラフェニブは高脂肪食の摂取でも薬の効果が低くなる
---	---



上記で紹介した薬と用法は一部であり、他にも服用時期が限定される薬が多数存在します。基本的には指示された用法を守って服用してください。ご自身の服用薬について不明な点があれば、薬剤師までお問い合わせください。

文責 薬局 羽毛田